



ムスリムの金融包摂について（続編）

外国人適正雇用プラットフォーム
第14回定例研究会

7月14日(月) 15:00～17:00

小関 隆志



その後...

- 先ほどの内容は、4月26日(土)、「国内のムスリムが金融にアクセスするために」と題して、東京ジャーミイ文書館の特別講演で話したものです。
- ただ、ムスリムといっても多様です。近年日本で増加している若い外国人労働者の中にも、マレーシアやインドネシア、バングラデシュなどイスラム圏出身者が多く含まれていますが、彼らにとって住宅ローンや保険はどれほど重要でしょうか？
- この研究会に集っている方々の関心事からすれば、技能実習生や特定技能などの若い外国人労働者が直面する家計・金融の問題に着目したほうが相応しかろうということで、鍋島様・FARUQI様にご協力を仰ぎ、改めて調査をさせていただくこととしました。



鍋島氏・FARUQI氏（合同会社CONVI）

（2025.6.11聴き取り）

- **イスラーム金融について**
 - － 「無いものはしょうがない」
 - － 来日でローンを組む際に、金利を気にしてはいられない
 - － インドネシア人は普通、より便利でお得なコンベンショナル銀行を選んでいる
- **資金需要について**
 - － 渡航費と最初の1か月の生活費（技人国と特定技能）
 - － 一般には外国人労働者自身が借りる
 - － 当社は雇用先による前借り。労働者自身が借りる必要はない



鍋島氏・FARUQI氏（合同会社CONVI）

（2025.6.11聴き取り）

- **ROSCAについて**

- インドネシアでは、Arisanが広く浸透
- 日本でArisanをやっている話は聞かない
- 職場でArisanを作るのは可能

- **家計管理について**

- 典型的な失敗は浪費と、家族がらみの借金
- BNPLの利用が一般的
- 家族との関係で過剰送金を強えられる
- 保険加入を勧めている
- もっと金融教育に時間をかけたい。渡航予定者と家族に金融教育を行うことも可能



職員グループインタビュー

(合同会社CONVI) (2025.6.20実施、8名)

・生活費の不足について

- － 来日後、最初の1か月分の生活費（約10万円）を用意できていない人が多い
- － インドネシアでは月収2－3万円
- － 当社から雇用先に対して無利息の前借（前払い）を依頼
- － 銀行の短期融資の年利は15%
- － 母国では生活費の不足を借り、返済できない多重債務者は債権回収業者から嫌がらせ
- － 来日前に生活費を準備すること。前借に期待しないように！
- － 使い過ぎを防ぐには自炊して食費を抑える
と良い



職員グループインタビュー

(合同会社CONVI) (2025.6.20実施、8名)

• 送金／仕送りについて

- 家族から月2－3万円の仕送りを期待されていて、拒否できない
- 親が先に借金して住宅・自動車の購入、弟妹の進学に使ってしまう⇒仕送りが借金返済に回る
- 賃金収入や仕送り額について、渡航前に家族と話し合わなかった
- 実家への仕送りをし過ぎないように！
- 家計管理や投資についてのオンライン教材があると良い

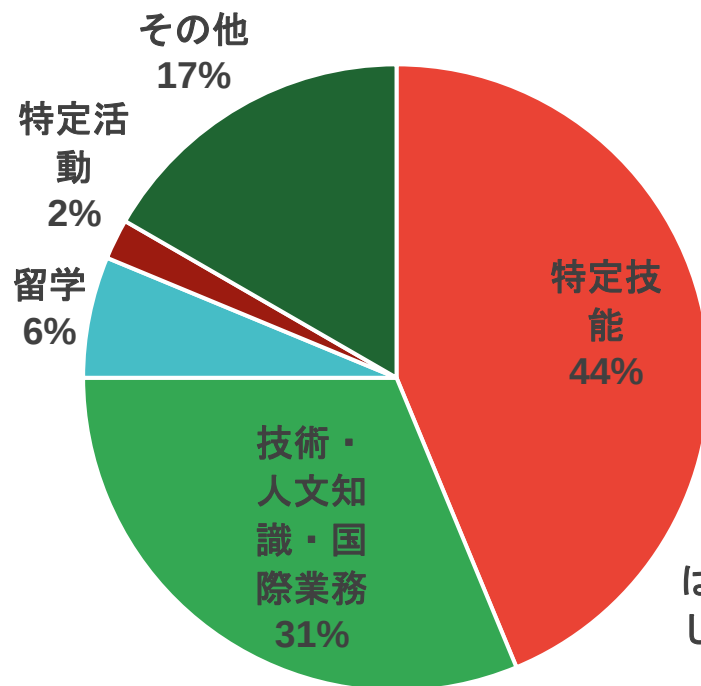


アンケート調査

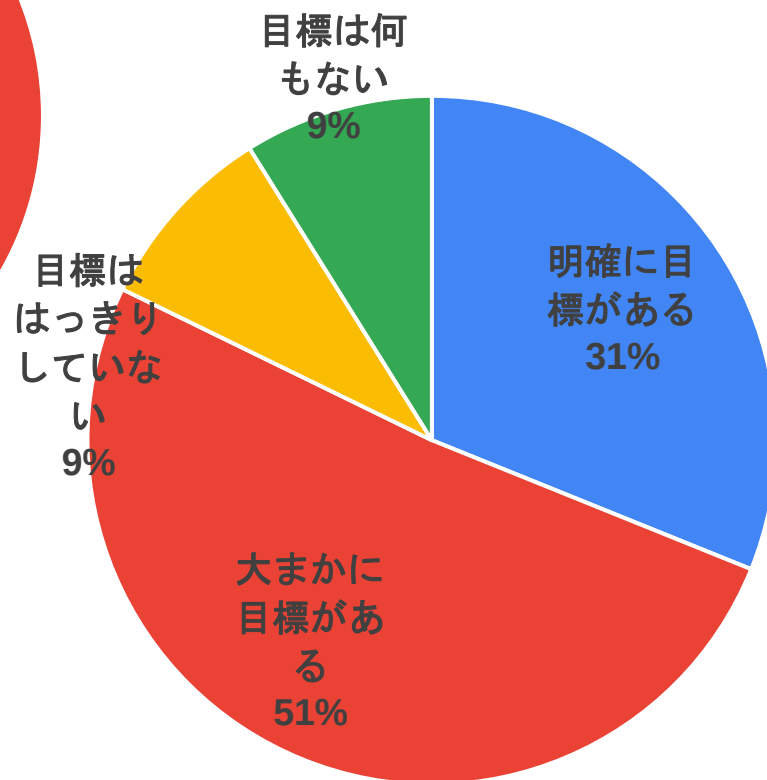
(合同会社CONVI)

(2025.7.8-10実施、48名)

問1 在留資格 (N=48)



問2 貯蓄の目標額(N=45)

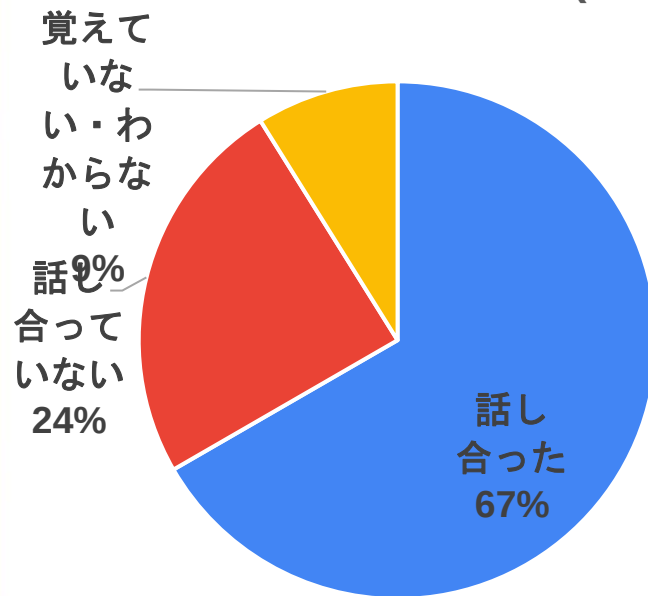




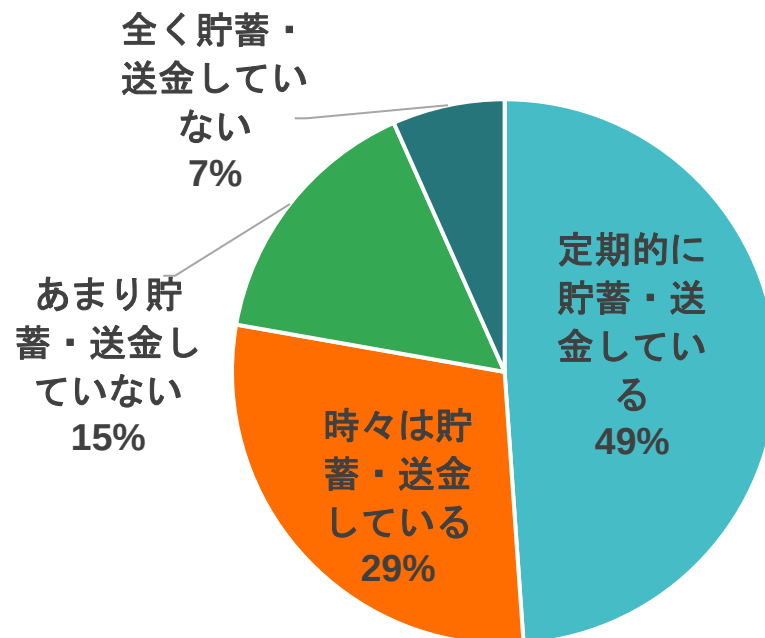
アンケート調査

(合同会社CONVI) (2025.7.8-10実施、48名)

問3 家族との話し合い (N=45)



問4 貯蓄・送金(N=45)

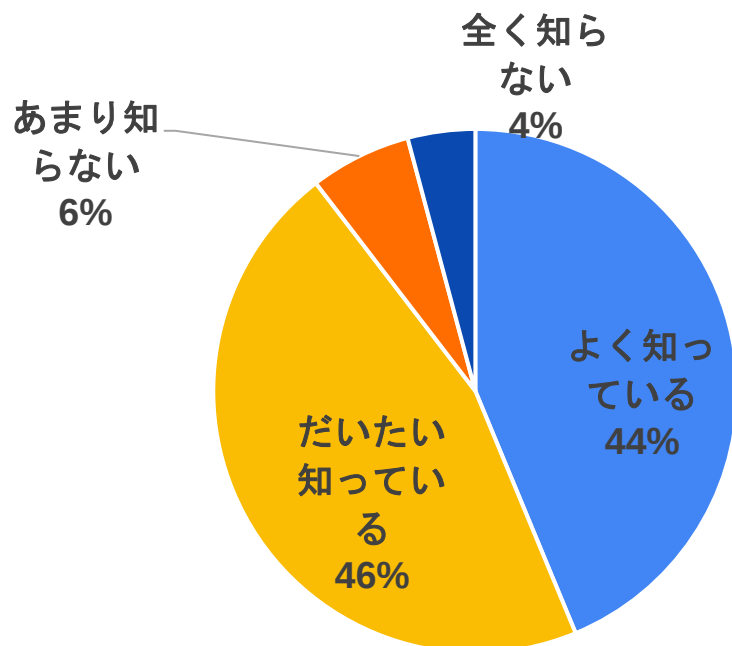




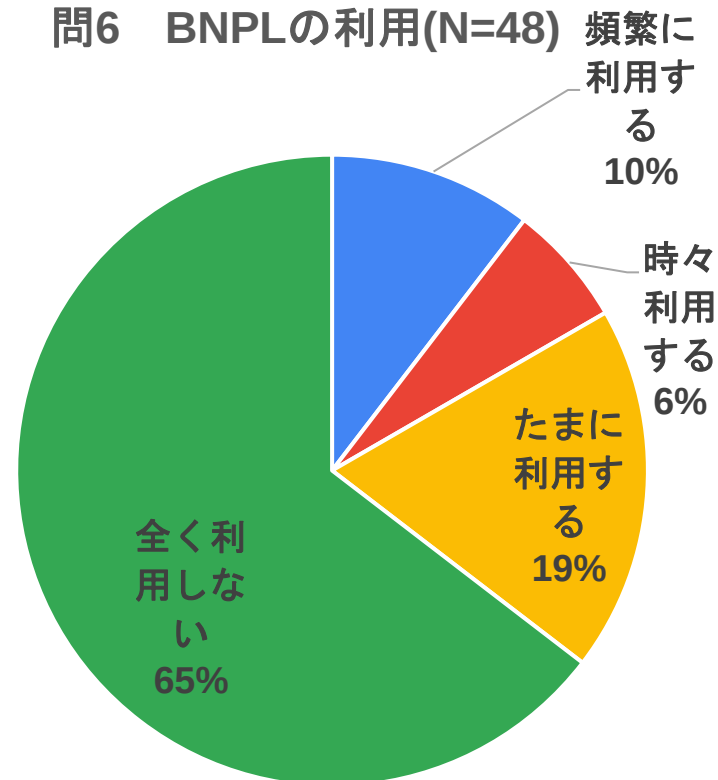
アンケート調査

(合同会社CONVI) (2025.7.8-10実施、48名)

問5 収支状況の把握(N=48)



問6 BNPLの利用(N=48)

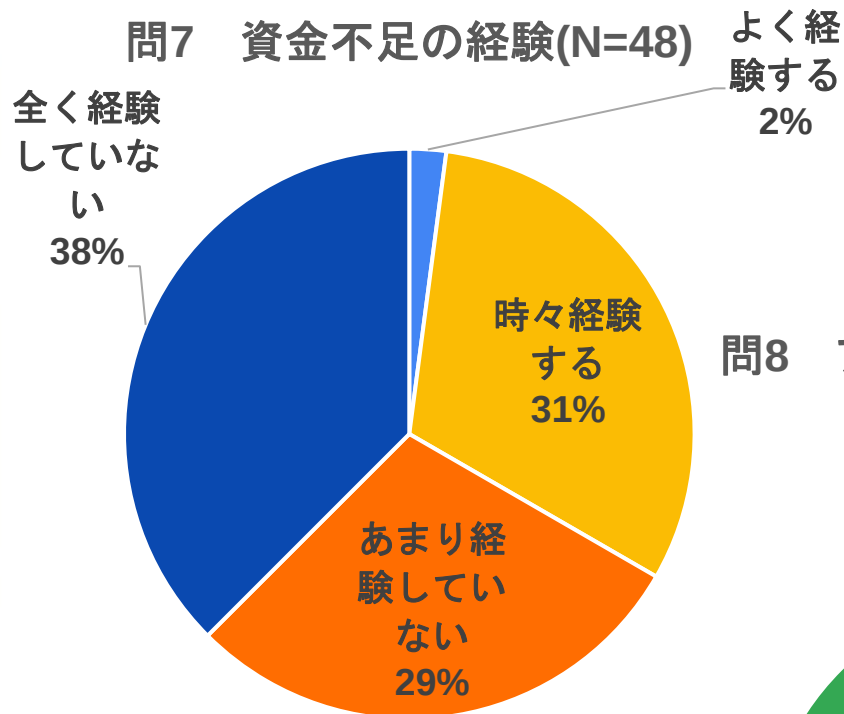




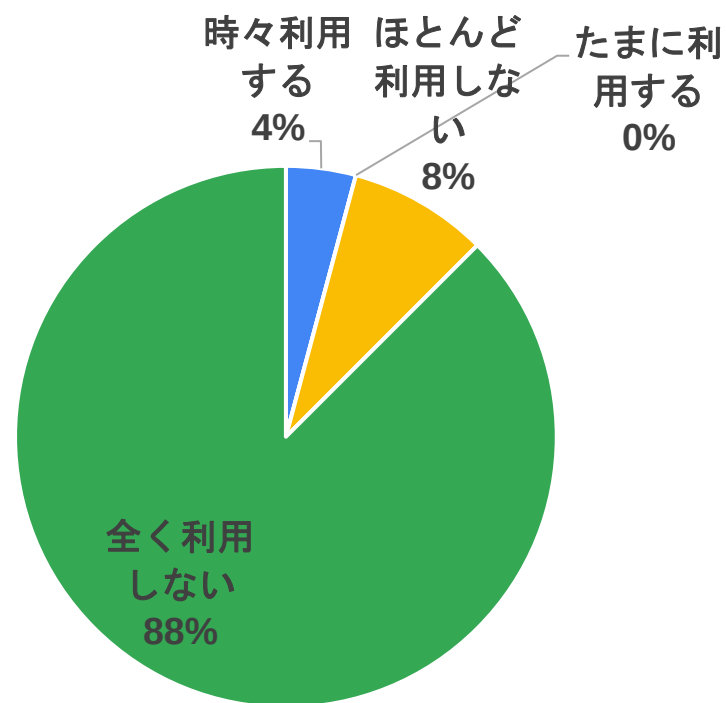
アンケート調査

(合同会社CONVI) (2025.7.8-10実施、48名)

問7 資金不足の経験(N=48)



問8 アプリによる借金 (N=48)

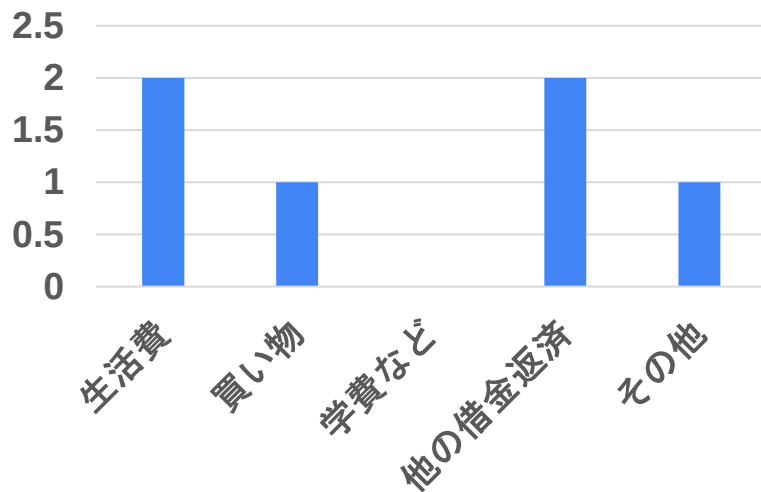




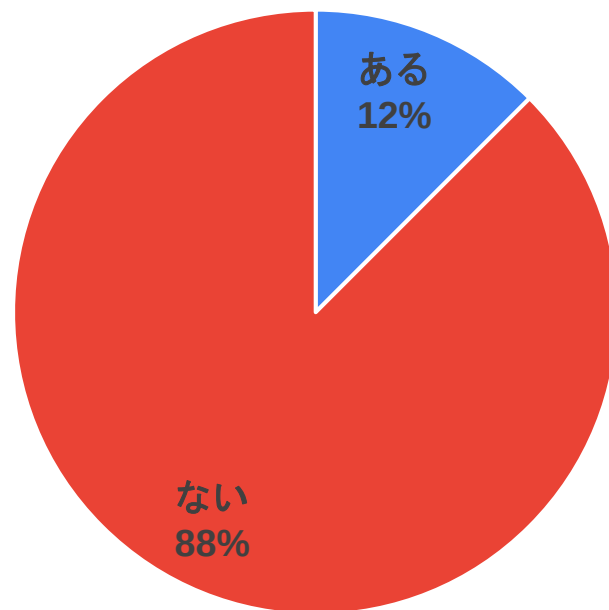
アンケート調査

(合同会社CONVI) (2025.7.8-10実施、48名)

問9 アプリによる借金の使途
(N=2)



問10 返済困難の経験(N=48)

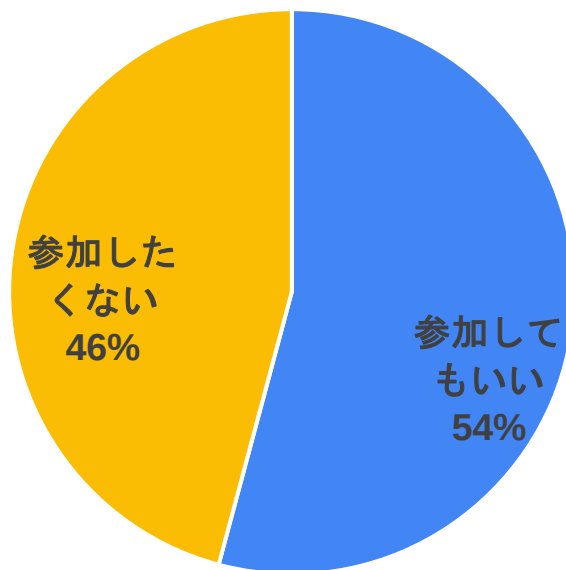




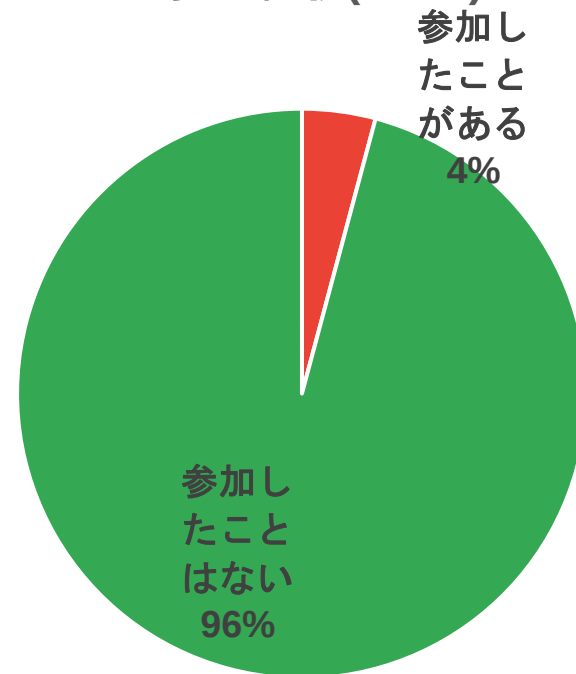
アンケート調査

(合同会社CONVI) (2025.7.8-10実施、48名)

問11 定期的な貯蓄への参加希望
(N=48)



問12 オンラインギャンブル参加経験(N=48)





インドネシアにおけるE-commerce の躍進



Tokope



Blibli



Lazada



Shopee



Bilna.com



Bhinneka.com



Sociolla



ZALORA

EC市場の取引額は、2024年に487兆ルピアに達し、前年比で2.8%の増加が見込まれています。

2022年には2,995,986社だったのに対し、2023年には3,816,750社となり、前年比で約27%の増加となっています。

2023年に発表された Google、Temasek、Bain & Company のレポートによると、インドネシアの消費者の約80%が、オフラインよりもオンラインでの買い物を好む という結果が出ています。

[インドネシア総合研究所【コラム】
インドネシアのEC市場（2023-
2024）](#)



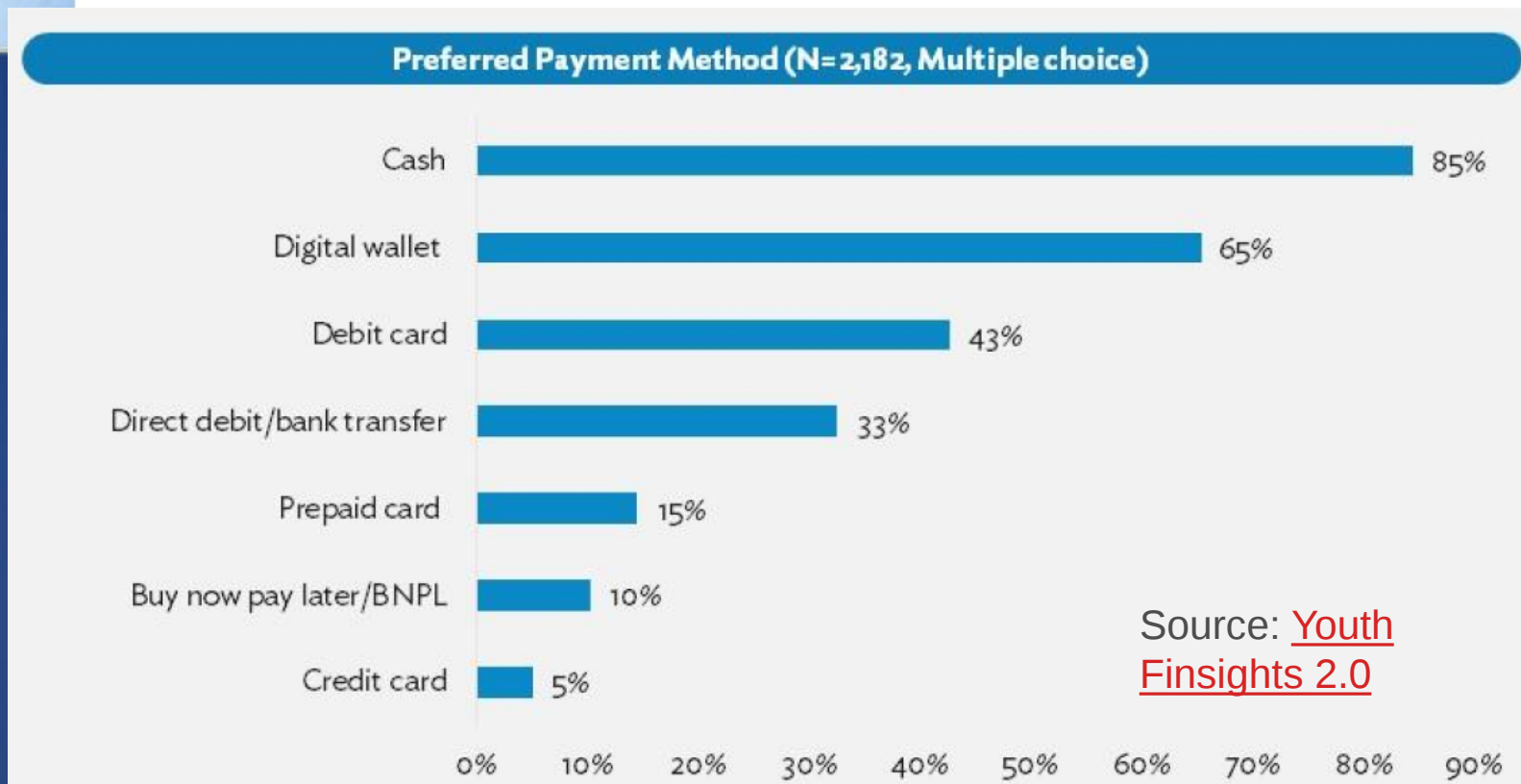
E-commerceは若者に人気



- 若者の54%はEコマース／オンラインショッピングを利用
- 大都市の若者のほうがオンラインショッピングを利用（大都市の若者は65%、農村部の若者は44%）
- 男性に比べて女性のほうがオンラインショッピングを利用（男性は44.6%、女性は57.9%）



インドネシアにおける キャッシュレス決済の普及



- 現金が最も多いが、キャッシュレス決済も近年急速に普及している
- オンラインショッピングとの親和性が高い。対面型の取引でもキャッシュレス決済が増加



インドネシアにおける キャッシュレス決済利用の増加

Frequency of Use of the Internet to Make Purchases or Pay Bills

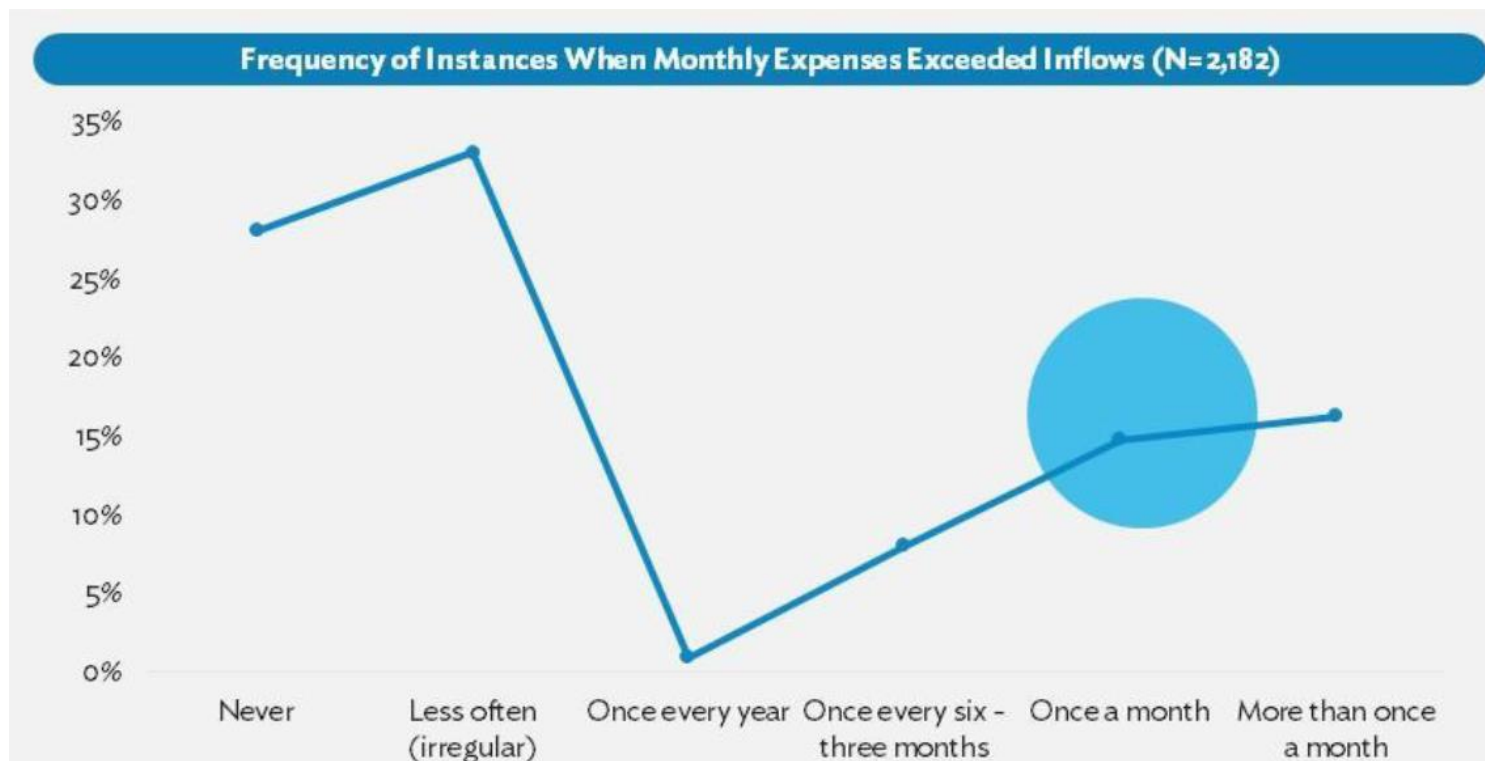
Source: [Youth
Finsights 2.0](#)



- 60%以上の若者が月1回以上、インターネットを利用してショッピング、または料金を支払う



結果として生じる支出超過



- 30%以上の若者が月1回以上、収入を超える支払い
- 予期せぬ支出、電子機器、身の回り品、書籍などの購入
- 賃金をもっと稼いで返済

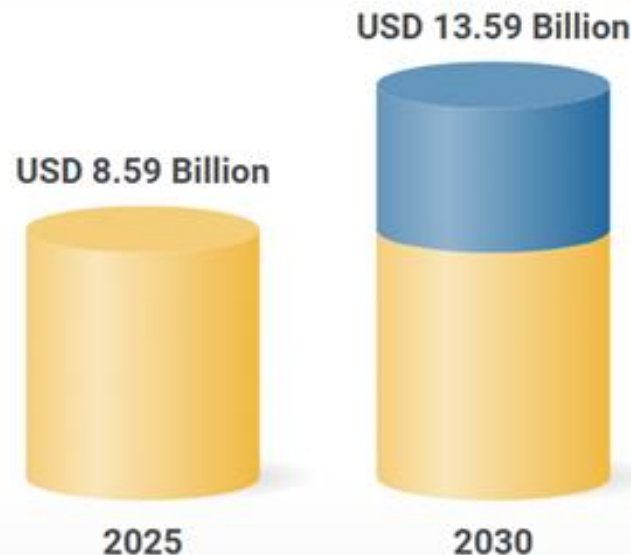


インドネシアにおける BNPL (Buy Now Pay Later)の普及



Indonesian Buy Now Pay Later Market

Market forecast to grow at a CAGR of 9.6%

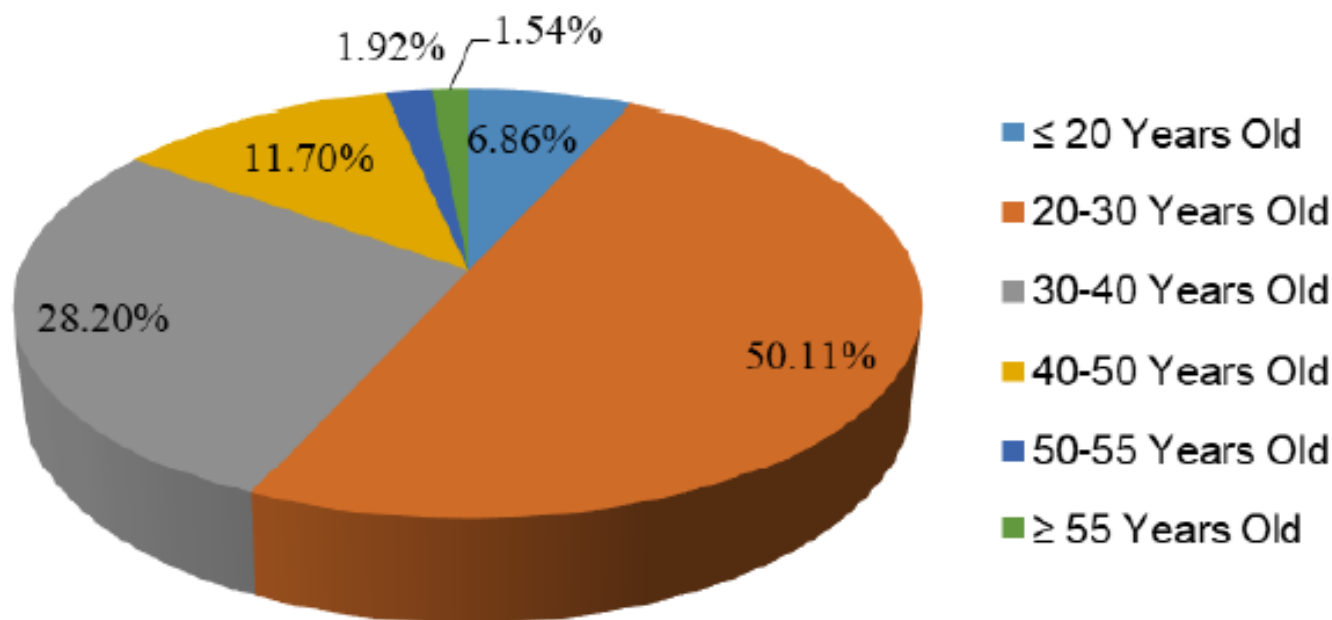


- BNPL の市場規模は2025年の85.9億ドルから2030年の135.9億ドルに成長する見込み
- アクセスの容易さ、柔軟な支払い、緊急時の使用が主な成長の理由



インドネシアにおける BNPL (Buy Now Pay Later)の普及

Paylater NPL Users in 2023 Based on Age



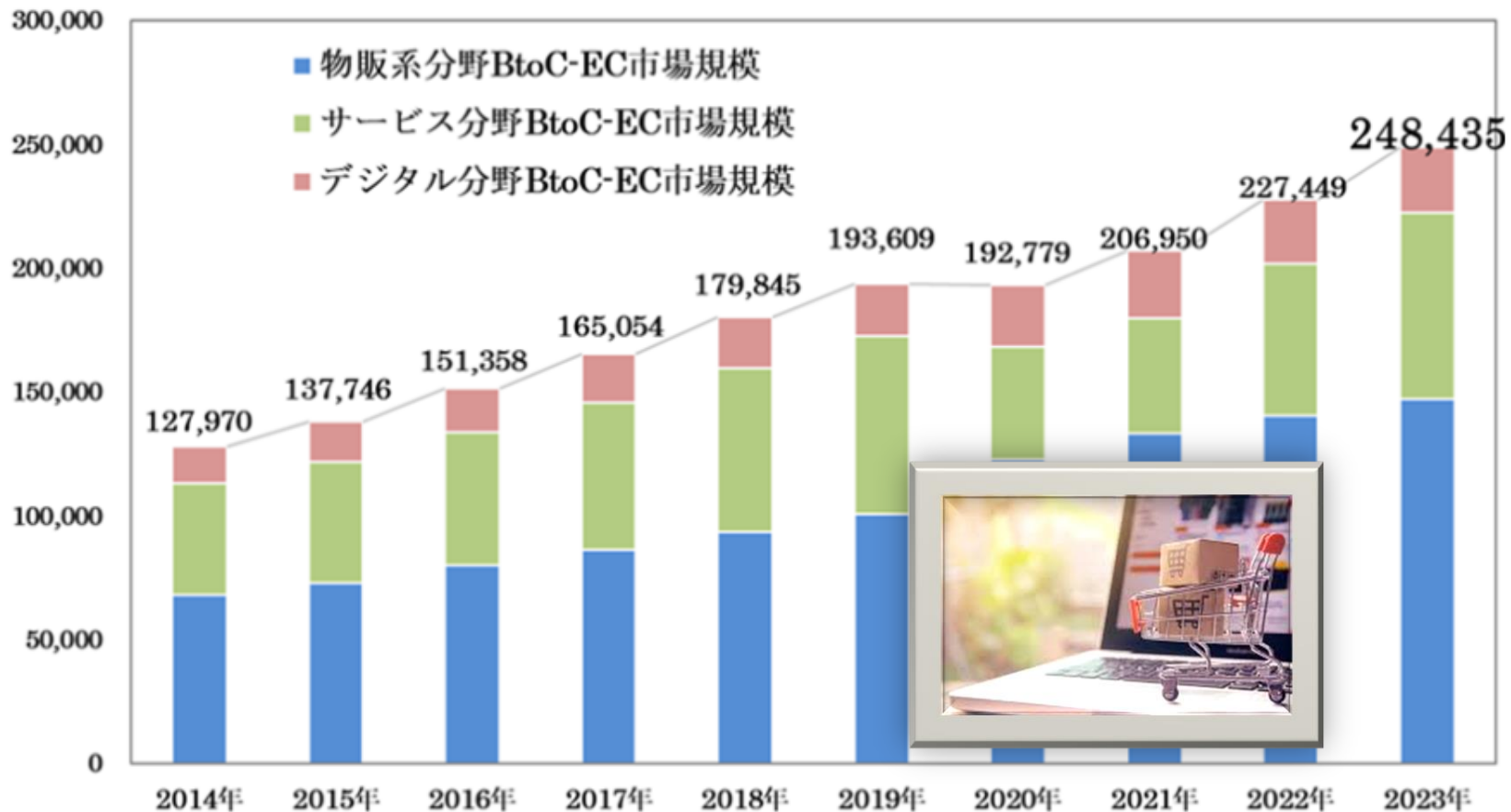
NPL: Non-Performer Loan (=non-repayable loan due to inability of borrowers)

Number of Paylater NPL Users. Source: Fadhilah and Ghazali (2024: 31)

- 若年層(40歳未満)の利用者が未払いとなる傾向
- BNPLはEコマースに統合
- Eコマースは衝動買いを誘発
- 借金という認識の欠如
- 確実な収入がなくても借金がかさみやすい



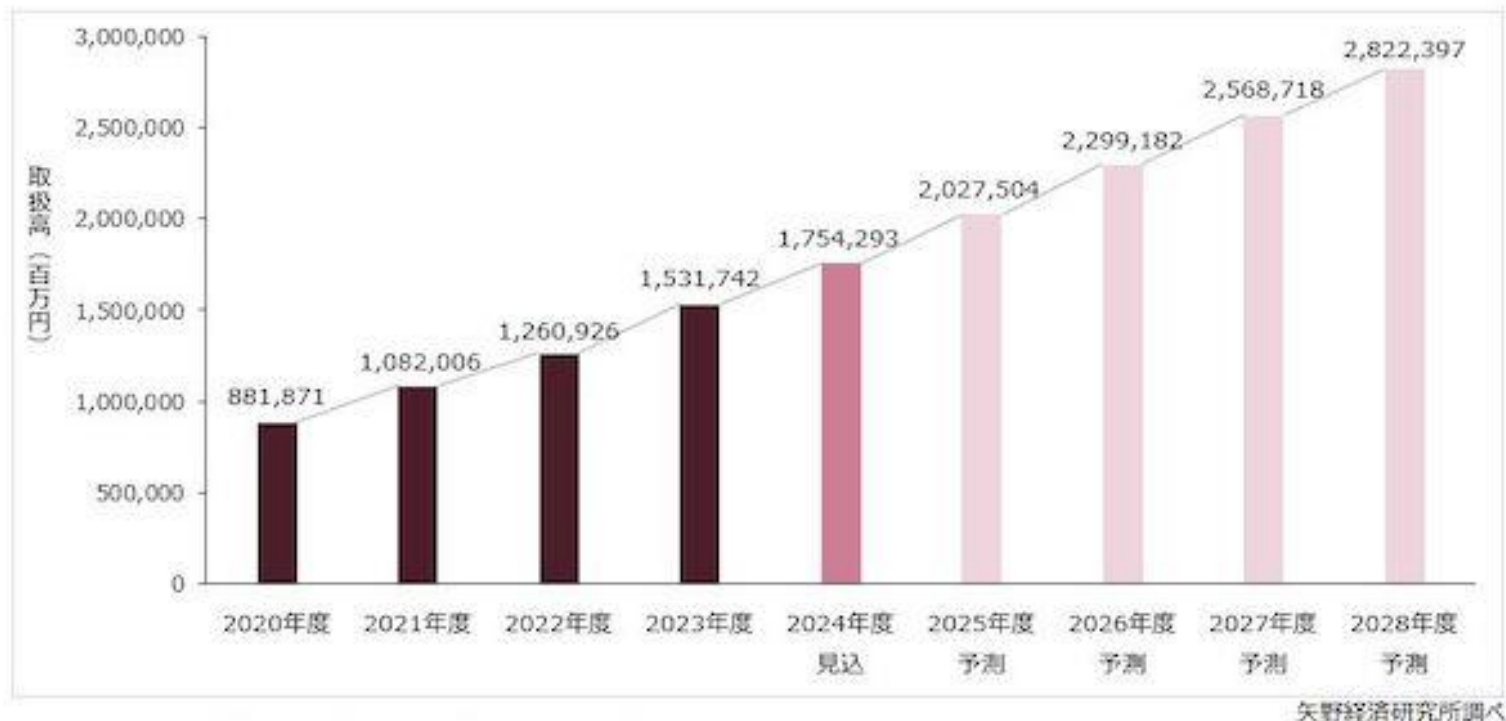
日本でもBNPL (Buy Now Pay Later) は急速に普及



- BtoC のEコマースが急増
- 10年間で倍増、2023年には24.8兆円



日本でもBNPL (Buy Now Pay Later) は急速に普及



注4. 後払い決済サービス提供事業者の決済処理金額（取扱高）ベース

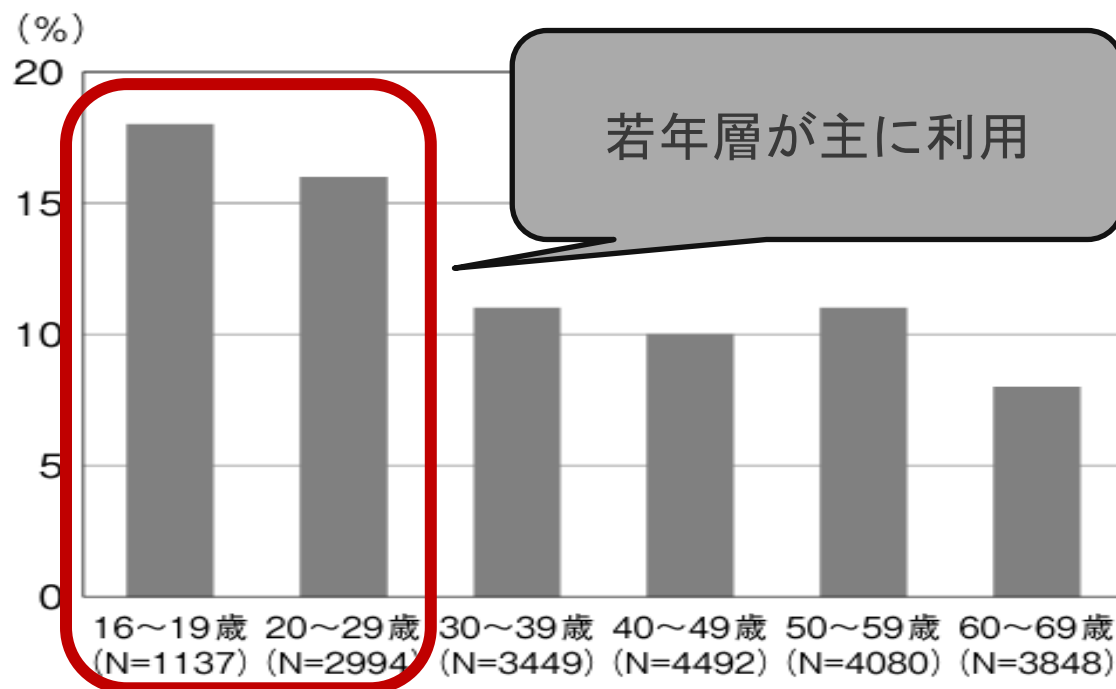
注5. 2024年度は見込値、2025年度以降は予測値

注6. 後払い決済サービス市場は、オンライン決済サービス市場の内数

- 日本国内のBNPL市場規模は2025年に2兆円(139億ドル)と推計（インドネシアは2025年に85.9億ドル）
- 日本のGDPはインドネシアの3.8倍⇒インドネシアのBNPL市場は比較的大きい



日本でもBNPL (Buy Now Pay Later) は急速に普及

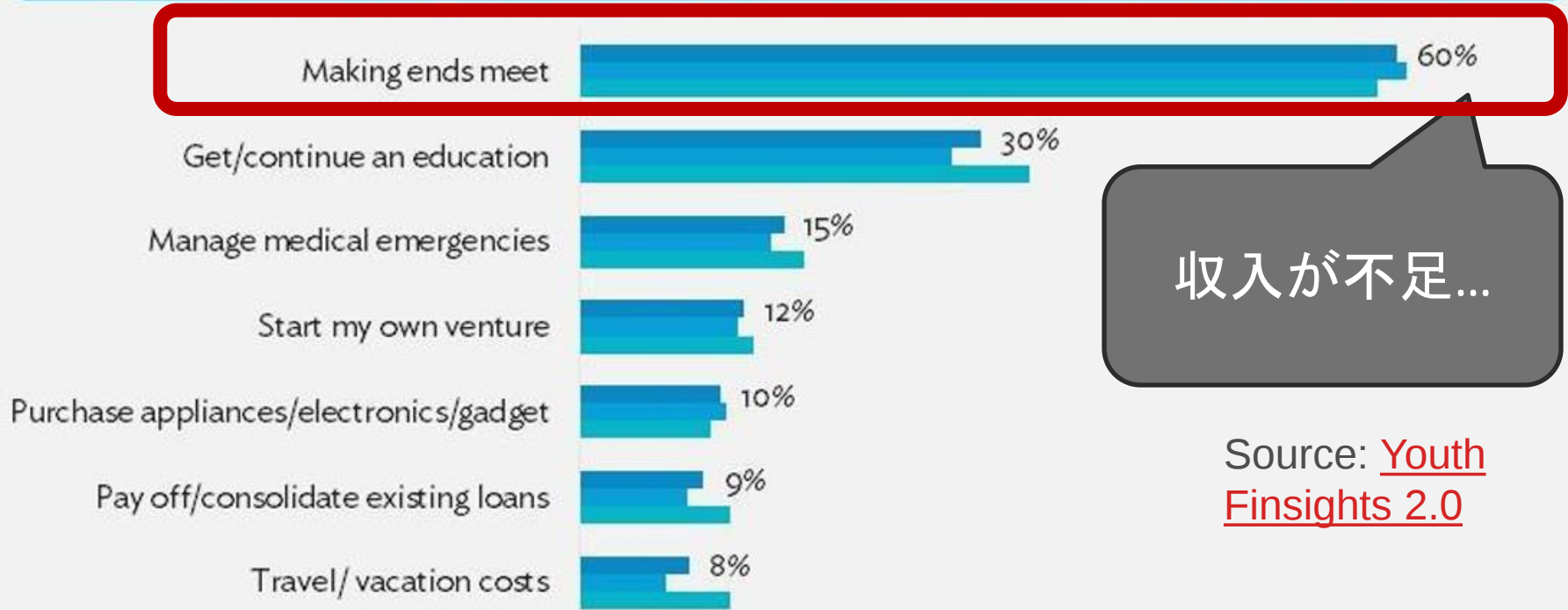


- BNPLは中毒性あり、借金の認識低い
- インドネシアと日本の主な相違点：クレジットカード・銀行口座
- 若年層はデジタルネイティブ：BNPLでの支払いに抵抗感がない
- Z世代にBNPLが支持されている：即時払い、手間暇をかけずにお金の管理
- 2021年度はBNPLに関して2万件の相談が寄せられる。注文していない商品の請求書、不十分な情報公開、払いきれない支払額など
- 相談件数は、2021年の2万件から3年後の2024年には2倍以上の44,000件に



4割の若者は過去5年以内に借金

Reasons for Borrowing and Comparison Between the Two Genders (N=755, Multiple choice)



収入が不足...

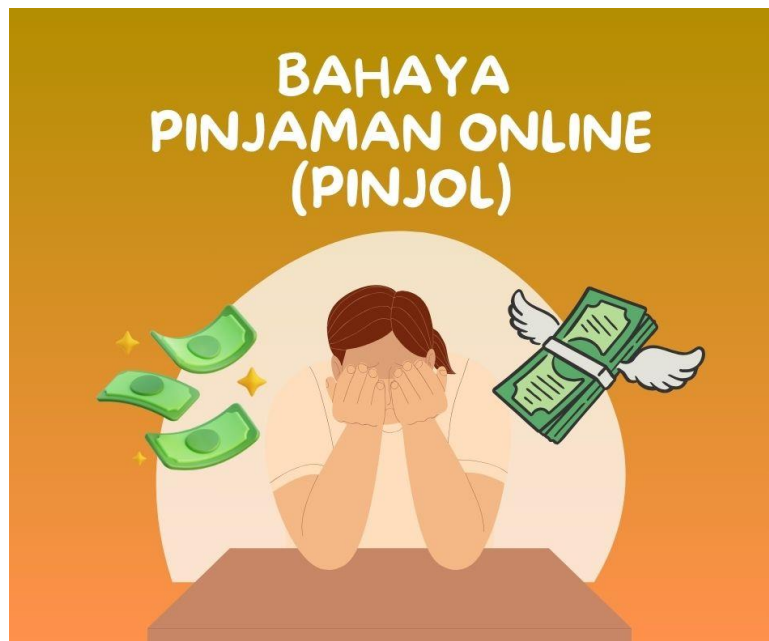
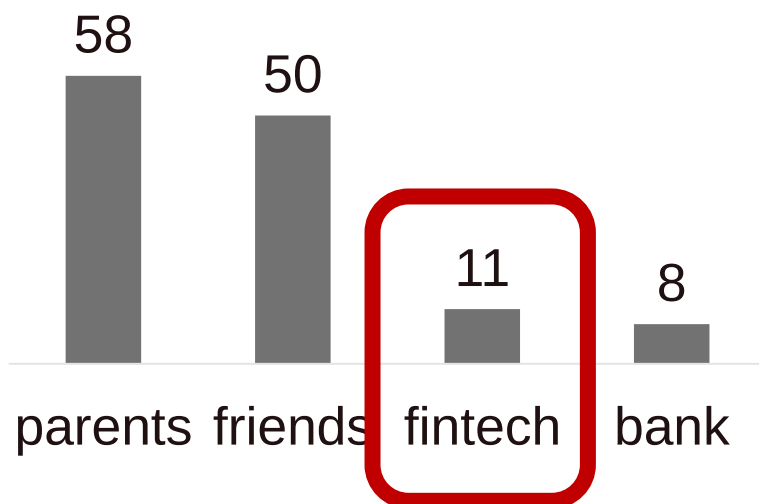
Source: [Youth
Finsights 2.0](#)

- 男性 48% 女性 35% が借金経験あり
- 生活費不足や進学、緊急時など多様な理由



インドネシアにおける フィンテック融資の普及

どこからお金を借り
たか(%)

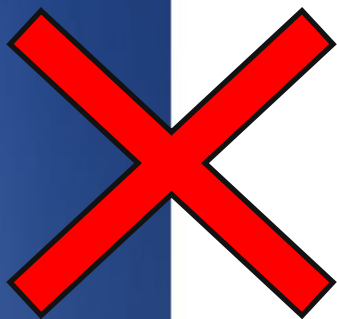


- フィンテック融資はまだ小さい割合だが...
- Pinjol (=オンライン融資) は2022年に11億ドル, 年41%の増加
- フィンテック企業が躍進(Kredivo, LinkAja, Tokopedia,...)



フィンテック融資が普及した理由

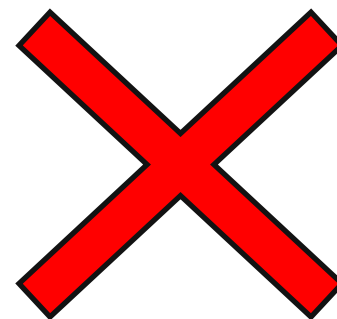
No paperwork



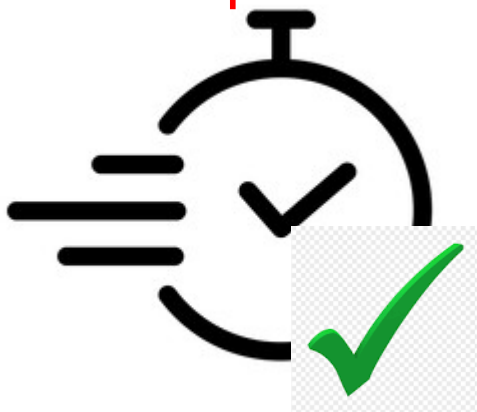
No face-to-face



No collaterals



Quick
process



Lower interest
rates and easier
access

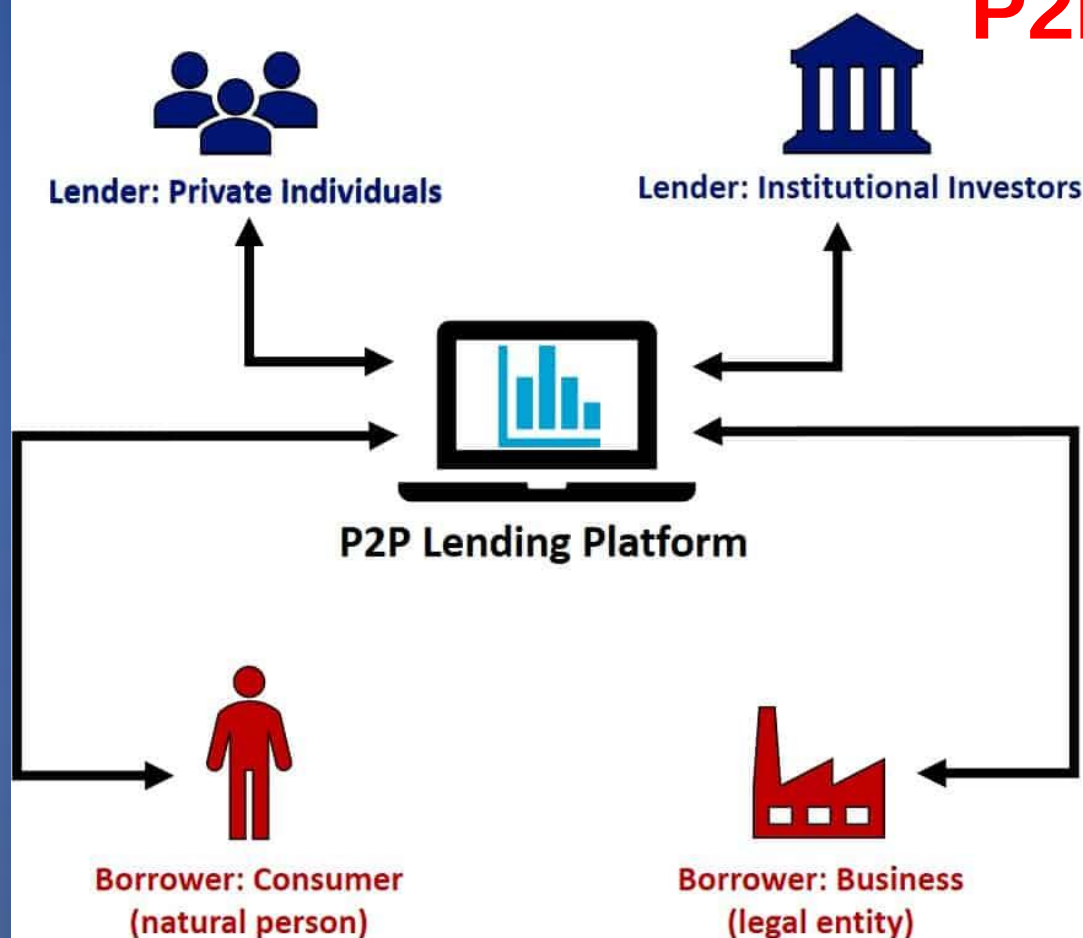


若者が金融にアク
セスできる
金融包摂の側面



P2P融資（ソーシャルレンディング）

P2P融資の仕組み



- プラットフォームを介して貸し借りができる
- 金融にアクセスできなかった個人や零細企業なども利用できる

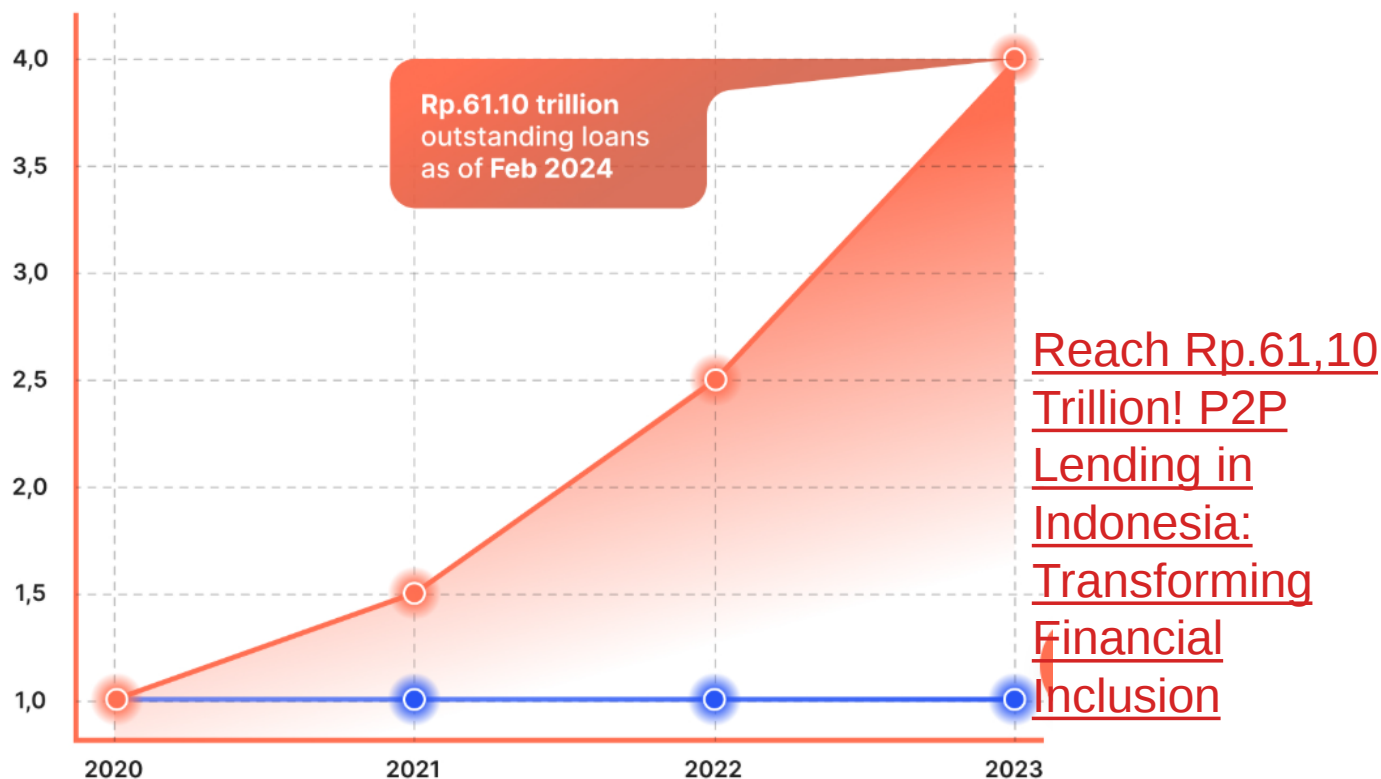


P2P融資（ソーシャルレンディング）

P2P Lending vs. Credit Card Growth in Indonesia (2020-2023)

P2P Lending Growth
(59% annually)

Credit Card Growth
(0.5% annually)



- P2P融資額が急増
- 不良債権も増加。2024年11月末時点で1.9兆円に上る



対策は金融教育なのか

金融リテラシーの高い人は

- 高学歴
- 正社員
- 大都市在住
- 高所得

(2021-2025 National Strategy on Indonesian Financial Literacy)

金融詐欺

- フィンテック融資詐欺
- フィッシング詐欺が2024年の1年間で70%増
- 金融詐欺の見分けが困難
- 4人に1人(23%)は即時払い(デビットなど)の詐欺で損失

(Una and Prabowo 2022)





対策は金融教育なのか



消費者の問題ではなくシステムの問題である

人の金融リテラシーや理性に過度に依存しない

消費や借金を容易にできるシステムであれば、普通の人は影響を受けるものだ

ナッジの有効性

Alert before catastrophe



ナッジとは、選択肢を制限せずに、予測可能な方向に人々の行動に影響を与えること

Default option (suitable for most cases)

OPT IN



OPT OUT

